

「学力向上ポートフォリオ(中学校版)」

学力向上目標

全ての生徒に対して、

○「知識及び技能」の習得とGIGAスクールの推進

- ・全教科領域でタブレットを活用した授業を展開し、安心安全に使いこなせるように心の教育を中心に使い方指導の徹底を図り、基本的技能を習得する。さいたま市学習状況調査におけるコンピュータ活用に関する肯定的な回答を前年度比で向上させる。

○「思考力・判断力・表現力等」の育成

- ・教科横断的授業の実施によるコミュニケーションスキルの向上。コミュニケーション力の育成。「心と生活のアンケート」コミュニケーションスキルの肯定的な回答を実施回ごとに向上させる。
- ・全教科・領域で「話し合い」を取り入れた授業の実践。「『よい授業』のアンケート」、「学校評価アンケート」等の調査で、「話し合い」活動に対する肯定的意見を前年度比で向上させる。

○主体的に学習に取り組む態度の涵養

- ・「生徒たちの、生徒たちによる、生徒たちのための学校づくり」を推進し、主権者教育に関する自校アンケートにて実施回ごとに肯定的な回答を向上させる。

具体的な手立て

- ①タブレットやコンピュータを安全に使うための講演会を行い、情報モラルを守って正しく情報機器を扱えるよう学校と家庭で連携した指導を行う。
- ②全教科・領域で「話し合い」を取り入れた授業実践と教師全員による授業研究を行い、教科横断的授業を実施する。「話し合い」の更なる充実に向けて「伝え合う」活動を念頭に置く。
- ③全教科・領域で伝え合う場を設定して、各教科・領域で身に着けた力を活用、応用する直接体験の場を増やし、更なる伸長を図る。
- ④見通しをもって学習に取り組み、学習の振り返りをとおして、学習前後の自己のよりよい変容を味わえる授業の工夫。

結果

- ・「『よい授業』のアンケート」では、すべての因子において向上が見られた。とくに因子④「児童生徒の活動」が昨年度よりも+1ptの顕著な変化がみられた。
- ・「心と生活のアンケート」では、解決スキル(+4.6pt)・言語的スキル(+6.4pt)・信頼他者(+5.6pt)・信頼自己(+8.6pt)と、すべてのスキルが向上した。
- ・「学校生活に何か目標をもって生活している」の設問に対し、「あてはまる」が8%上昇した。

今年度の振り返り・次年度に向けて

全ての教科・領域で「話し合い」を取り入れた授業実践により、生徒の学習活動が活発化したことで、解決・言語的スキルが向上し、信頼他者・信頼自己の伸びに繋がったと考えられる。健やかな人間関係の構築がクラスや学校への愛着や帰属感を深めさせたといえる。次年度は「伝え合う」活動の充実を図り、様々な課題に主体的に取り組む生徒の姿を目指す。また、情報モラルを守った情報機器の正しい使い方指導も継続して行い、効果的なタブレットパソコンの活用を進めていく。